

TAKE FREE

北海道石狩振興局©新規就農スタートブック

# 私たちが 石狩で就農する 7つの理由。

*Our Farming Story in Ishikari*





「農業には地縁や“コネ”が必要…」「夫婦じゃなければ就農は難しい…」

新規就農の夢を抱きながらも、そう考えている人はきっと多いはず。

こうした考えは概ね正しく、農業が甘くないのは事実。

でも、あくまで一般論です。

北海道石狩では、今まさに二人の若い女性が  
農家になることを目指して就農研修の真っ最中。

彼女たちが「石狩」を選んだ7つの理由をご紹介します。



## 理由 1 若者も、女性も、農家になれる

万全のサポート体制を整えているから。  
女性一人での就農の夢を実現できる舞台が石狩です。

私たちが実際に石狩で就農しました！

### people.01

女性一人のチャレンジに耳を傾けてくれたのが石狩市でした。

子どものころから土に触れることや植物を育てることに興味がありました。大学では1年目から「就職」ではなく「就農」活動に励み、夏休みのたびに道内各地の農家で働かせてもらって、自分にはどんな農業が合うかを模索してきました。北海道で新規就農を受け入れている自治体はたくさんありますが、夫婦であることや一定の資金があることを条件にしているところが多く、大学を卒業したばかりの私にはかなり高いハードル…。そんな中、条件よりもまず私が目指す農業の話に耳を傾けてくれて、親身に受け止めてくれたのが石狩市だったのです。

#### 農業研修生 廣井かれんさん

1997年生まれ。新潟県出身。将来は農家になることを夢見て北海道の酪農学園大学に進学。石狩市の農業研修生として新規就農を目指している。



From  
ISHIKARI

ハードルは高いけれど、可能性はゼロじゃない。  
二人の熱意に応えたいと思ったんです。

石狩市農業総合支援センター 担当者



女性一人で就農と聞いて首をかき上げる人は多いと思います。「男性一人でも難しいのに、まして女性では…」という意見ももっともです。当センターとしても“女性一人の就農は難しい”という認識は皆さんと同じ。研修生二人もそのことはしっかり理解しています。ではなぜ、研修生として受け入れたのかと言えば、二人の熱意に応えたかったというのが一番の理由です。担い手不足が深刻化する昨今、農業に熱意を持った人材がせっかく目の前にいるのに「若いから」「女性

だから」という理由だけで門戸を閉ざすべきではないと考えました。営農には女性的なきめ細やかさや色彩感覚、経営センスが生かせる場面が少なくありませんし、研修期間中に同じ目標に向かうパートナーと出会う可能性も十分に考えられます。事前の打ち合わせや面談を通して、農業への思いが真剣であることも伝わってきましたので、当センターでは、二人のチャレンジを全力でバックアップしていこうと決めたのです。

### people.02

いくつもの縁が重なってふるさとでの就農を決意しました。

就農を意識したのは今から数年前。子育てが一段落し、これからの人生で何をしていきたいかと考えた時に、「経営がしたい」「ものづくりがしたい」「長く継続できる仕事がいい」といった私の希望を並べてみて、農業ならこれらを全部満たせるかもしれないと思い至ったのです。石狩市は私の地元なんですけど、正直、農業のことはほとんど知りませんでした（苦笑）。ところが、就農イベントを通じて知り合った方から紹介していただいたのが偶然、石狩市の農家さんだったという縁もあり、ふるさとでの就農にチャレンジすることにしました。

#### 農業研修生 佐々木ひろみさん

1985年生まれ。北海道石狩市出身。飲食業界で長く働き、自身の将来を見据えて新規就農を決意。小学生の娘を持つシングルマザー。



※取材実施期間：2020年7～10月  
※佐々木さん、廣井さんのお二人は、2021年4月に独立就農をする予定です。



理由

2

## サポート体制が充実している

二人が研修先を選んだ石狩市で新規就農者のサポートを行っているのが石狩市農業総合支援センター。石狩市、石狩市農業協同組合、石狩市農業委員会、石狩農業改良普及センター（石狩北部支所）、北石狩農業協同組合の5団体で構成され、本格的に農業を目指す人をきめ細やかに支えています。

就農相談からデビュー後のフォローまで必要な時に、

必要な支援をワンストップで提供



支援センター

### 相談受付

就農についてあらゆる相談を受け付けています。まずはお気軽にお問い合わせください。

### 就農研修

就農研修に申し込み際に必要な書類作成などを支援します。

### 体験農場紹介

希望する農業体験（施設園芸、露地栽培など）に応じた、受け入れ農家をご紹介します。

### フォロー研修

育苗管理や病害虫対策など、新規就農後も必要なサポートを継続します。

### 融資手続き支援

国や自治体による融資制度を紹介し、申請手続きなどを支援します。

### 先輩農家との交流

先輩農家の農場を見学する機会を定期的に設けるなど、地域への溶け込みを促します。

研修を受けたい

お金の不安を解消したい

地域に溶け込みたい

営農について学びたい

就農について相談したい

農業体験をしてみたい

ホンネが聞きたい!

### Q. 一番助かった支援はどんなもの？

農業を営む上で必要な農業簿記の付け方や経営について学べたこと。

水や肥料の与え方といった作物を育てるノウハウは研修先の農家の方がしっかり指導してくれますが、それに加え、経営として営農を続けていくために必要な知識をしっかりと教えてくれるので心強いですね。

by 廣井さん



理由  
3

## 頼りになる指導者がいる

石狩市で研修を受ける二人の指導役を担ったのは、この地で長年ミニトマト栽培に携わる北海道指導農業士の越後浩義さん。これまで何人も研修生を育て上げてきました。石狩には研修生に必要な知識や技術を教え、精神的な支えにもなる優れた指導者が揃っています。



## Interview

### 研究熱心で飲み込みも早い。 自分らしい農業で成功してほしいです。

北海道指導農業士 越後浩義さん(JAいしかり ミニトマト部会 役員)



石狩市で40年近く農業をやっており、ミニトマトの栽培も20年以上です。これまで指導してきた研修生は今の二人を含めて6名。以前にも女性の研修生を指導したことがあります。

石狩市では地域全体でタッグを組んで、研修生をサポートしています。機械類の操作などは他の指導農

業士が教えていますし、石狩市農業総合支援センターのほうでも経営面を指導しています。二人を育てるのは僕だけではありません。

二人は農業についてとても研究熱心で、気になることがあれば細かいことでも質問をしてくれます。聞かれればその場で説明ができるので、かえって頼もしい。

時には僕自身が当たり前のようにやっていたことを「なぜ、やるのか?」と質問されるので、改めて考える良い機会になるんです。教えることで、気づかされることも多いって言うのかな。

せっかく新規就農するのであれば、今までのやり方とか僕が教えたことだけには縛られず、自分のカラーを出して自由にやってもらいたい。二人ならきっと多くの人に期待される良い農家になれるはず。そしてもし困ったことがあれば、いつでも頼りにしてもらいたいですね。



### ホッネが聞きたい!

#### Q. 北海道指導農業士の越後さんってどんな人?

佐々木 ミニトマト作りの職人っていう。

廣井 うん、うん。

佐々木 ミニトマトハウスで作業していても、今、気温上がったねとか、風向き変わったねとかいうのを肌で感じ取っていて、私たちがハウスの窓を開けなきゃって思っていると…

廣井 もう開けていたとかね(笑)

佐々木 すごいなって思います。

— 教え方は厳しい? —

廣井 厳しいっていう感じではないかな。

佐々木 すごく丁寧に、細かいことまで教えてくれます。私たちの先輩には何人も越後さんの卒業生がいっちゃって、皆さんミニトマトの農家として独立していらっしゃるんです。

廣井 この人についていけば安心だって思える方です。

— どんな感じで教えてもらってるの? —

廣井 ちゃんとひとりでやっていけるように、いろいろ考えながら教えてください。土づくりから始めて、管理の仕方、水のやり方、次の年の準備とか全部。もう何人も教えてきている方なので、とてもわかりやすいです。

佐々木 越後さん自身のやり方は、既に確立されたものがあるんですけど、私たちがやるんだったら、このやり方じゃなくて、

こういうやり方のほうが力を使わずにできるかもねって考えてくださるので、そこがすごくありがたいなって。

— お父さんみたいな感じ? —

佐々木 みんなのお父さんって感じかな。

廣井 そうですね。

佐々木 あそこで教えてもらっているんだったら安心だねって、皆さん言ってくれます。

廣井 越後さんから見たら、私は孫みたいな感じかも(笑)

佐々木 私は娘さんと同じ歳なので、まさに父ですね(笑)





# 理由 4

## 都市近郊の優位なロケーション

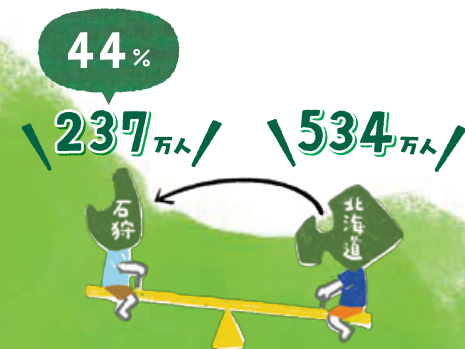
石狩は札幌市を中心とした半径40km（車で約1時間）ほどのエリアです。北海道内では都市部に位置づけられますが、米の生産は全道で3位、ブロッコリーやレタスなどの野菜類も多く栽培され、花は全道2位の主産地です。酪農を営む農家もあり、バラエティに富んだ農業が行われています。

### 全道人口の

44% (237万人) が集中する

### 大都市圏を形成

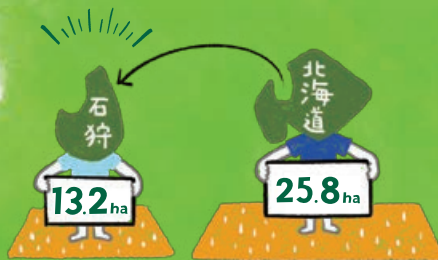
人口195万人を数える札幌市を中心に、石狩は北海道全体の4割以上の人々が生活する大都市圏となっています。農作物の一大消費地でもあり、さまざまな需要が見込まれます。



### 1戸あたりの平均耕地13.2haで

### 小規模経営が主体

全国的には大規模農業が盛んな北海道（平均25.8ha）にあって、石狩の経営耕地面積は比較的小規模。販売農家戸数に占める兼業農家の割合は3割程度で、都市近郊農業（都市型農業）となっています。



### ◎石狩の主な農作物と出荷時期

作物	期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アスパラ													
りんご													
かぼちゃ													
小麦													
キャベツ													
ぎゅうり													
小松菜													
じゃがいも													
だいこん													
たまねぎ													
スイートコーン													

作物	期間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トマト													
にんじん													
ピーマン													
ほうれんそう													
ブロッコリー													
ミニトマト													
レタス													
いちご													
さくらんぼ													
米													
花(ゆり)													

■ 生鮮出荷 ■ 貯蔵出荷

# ISHIKARI AREA

### ◎エリア紹介

#### 石狩北エリア

米や小麦を中心にミニトマトやメロン、花など施設園芸が盛んに行われています。自治体ごとに産地直売所を設け、札幌市内からの買い物客も多く訪れます。消費者と食と農でつながる交流の場となっています。

#### 都市部エリア

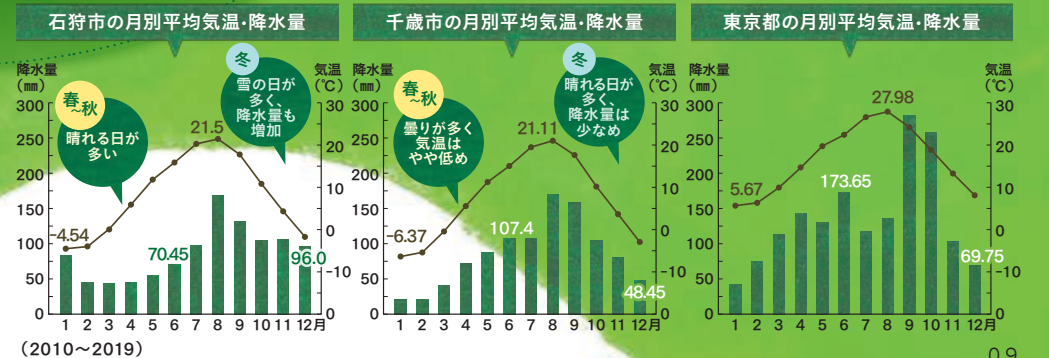
札幌市内北東部の平野を中心に、立地や土壌の条件に合わせた農業が行われています。大都市の有利性を生かした集約的な栽培で、新鮮かつ良質な農産物の供給という重要な役割を果たしています。

#### 石狩南エリア

石狩管内でも降雪量が少なく、イチゴやブロッコリー、とうもろこし、白菜、大根などの野菜、ブルーベリー、ハスカップなどの果物の生産が盛んです。新鮮な農産物を提供するファームレストランも点在しています。

### ◎石狩の気候

春から秋にかけて北部や中部では晴れる日が多く、札幌では真夏日となることもあります。一方、南部では曇りがちで霧の日も多く、気温はやや低め。冬は、北部や中部では雪の日が多く降水量も増えますが、南部では晴れる日が多く、降水量は少なめです。





# 理由 5 オフタイムも楽しめる魅力がいっぱい

札幌中心部までのアクセスは石狩のどこからでも車で1時間程度。  
 オンタイムは自然に向き合い、オフタイムは都会を楽しむ。  
 そんなライフスタイルが実現できるのも石狩ならではの。  
 海、山、森が身近にあり、アウトドアアクティビティには事欠きません。

## ISHIKARI ACTIVITY!

### Town

街を楽しむ

グルメやショッピング  
文化施設も充実

話題のレストランや流行のおしゃれアイテムはしっかりチェック。札幌市には全国展開するチェーンのほとんどが進出し、時代の先端を意識したライフスタイルが可能です。博物館や美術館、コンサートホールなどの文化施設も充実しています。



札幌市 / 札幌駅 (JRタワー)  
 ホテルやデパート、ファッションビルなどからなる札幌を代表するショッピング街。



恵庭市 / 道と川の駅 花ロードえにわ  
 「花・水・緑・田園」をテーマにした道の駅。コンサバトリー（人に優しい温室）がシンボル。



石狩市 / ライジング・サン・ロックフェスティバル  
 毎年夏に開催されている国内最大級の野外オールナイト・ロックフェスティバル。



千歳市 / 新千歳空港  
 国内外と北海道を結ぶ空の玄関口。近年はグルメやショッピングスポットとしても人気。

NATURE



当別町 / 道民の森  
 北海道が整備した国内最大級の森林総合利用施設。キャンプスポットとして人気。

NATURE



新篠津村 / たっぷの湯  
 しのつ湖のそばにある天然温泉。湖ではグランピングやワカサギ釣りが楽しめる。

EVENT



北広島市 / 北海道ボールパークFビレッジ  
 北海道日本ハムファイターズの拠点球場を中心に多彩なアクティビティを楽しめる複合施設。(2023年開業予定)



## NATURE

自然を楽しむ

アウトドアスポーツはよりどりみどり

キャンプやスキー、魚釣りといった定番に加え、グランピングやSUP（スタンドアップパドルボード）などイマドキのアクティビティも楽しめます。心身共に癒される温泉も石狩各所に点在しています。

EVENT



江別市 / EBRI  
 食とイベント、マルシェをコンセプトにした商業施設。地元の農産物を生かした催しを企画。

## EVENT

イベントを楽しむ

大興奮の音楽フェスもおいしいマルシェも

地域に根付いたお祭りから国内最大級の音楽フェスまで、一年を通して多彩なイベントが開催され、農産物をテーマにしたものも少なくありません。2023年には「北海道ボールパークFビレッジ」の開業も予定されています。

more!

医療や福祉、教育機関が充実。子育てもしやすい生活環境

石狩には全道の約半数の医療機関が集積し、救急医療、災害医療、小児医療など、安心できる医療体制が整備されています。大学や専門学校も充実しているほか、都市と自然がバランスよく調和し、子育てにも最適な環境が整っています。

暮らしにも  
優しい環境!





行動してみることで  
答えが見つかることも。



千歳市

就農6年目で  
農福連携にもチャレンジ。

かねこ農園/  
金子昌平さん・つぐみさん

新規就農の夢を抱いても、お金の問題や一人で就農できるかなど、心配なことは尽きません。とはいえ、考えるだけでは何も進まず、僕もやりたいと思ってから3年掛かりました。肝心なのはまず動くこと！

てらしま農園/寺嶋大貴さん

失敗したり上手くいかなかったりすることを含めて、自分自身で生産から経営まで携わるのはやりがいがあり、充実感を味わえます。作物が計画通りに育って、収穫、出荷する時の嬉しさは何にも代えがたいですね！

江別市

失敗も成功も全て  
自分に返ってくるのが農業。



浅井聡さん

40才でスタートし、「もう引き返す道はない」との決意で就農しました。農業は「会社のためではなく自分のため」に働き、収入も伴ってきます。サラリーマン時代には無かったやりがいを得られています。

越後さんの元で  
研修を受けた  
和たろのセンパイ！



自分のために働くやりがいを  
得られる仕事です。

札幌市

諦めない気持ちがチャンス  
呼び込むはず！



檜木好恵さん・啓吾さん・花梨さん(娘)・マックス(愛犬)

私が新規就農を決意したのは50歳の時で、しかも女性ということで受け入れてくれるところがなかなか見つかりませんでした。それでもなんとかチャンスを掴んで就農できたので、諦めないキモチも大切ですね。

石狩市

分野を超えた出会いを  
楽しんでください！

北広島市



竹内農園/竹内巧さん・愛さん

農業だけではなく、さまざまな業種・職種の人と新しい関係を築いていけるのも、新規就農で初めての土地に飛び込む醍醐味です。その土地ならではの出会いを楽しみ、地域づくりにも積極的に関わってみてください。

## 理由6 お手本になる

生活そのものが一変する  
石狩で一足早く新規就農した先輩

“自分自身も商品”  
というキモチで。

恵庭市

レタス一本に絞って  
2020年に就農。



あかがわファーム/赤川篤志さん

農業って「個人ワーク」のイメージもあるかもしれませんが、いかに、多くの人とつながって知恵を出し合ったり、お互いに支えあったりできるかが大切。農作物を通して“自分を売っていく”ってカンジかな。

## 先輩農家もたくさん

新規就農には不安があっても当然。  
私たち皆さんのチャレンジを歓迎しています！

ISHIKARI SENPAI'S VOICE!

運送会社のドライバーから  
花農家に転身。



齊藤義也さん・真菜美さん

「農業は重労働」とイメージしている人が多いと思いますが、花の選別などはそれほど重労働ではありませんし、女性でも活躍できます。当別町は自然が豊かでのびのびと子育てをするには最適だと思います。

女性の活躍も  
目立っています！

新篠津村

“従業員として働く”のも  
選択肢のひとつ。



株式会社オーガニック新篠津/  
福尾拓さん・綾さん

就農には、私のようにまずは会社組織に所属するという方法もあります。「農」に興味はあるけど、どんな農業が合うかわからないという人は、まずは従業員として働きながら方向性を見つけていくという道もあります。



理由

7

# 広がる夢をバックアップ

新規就農という目標に向かって着実に前に進んでいる二人。でも就農はゴールではなくスタートです。「経営が安定したら、ゆくゆくは…」。石狩は、広がる夢や新しいアイデアにもチャレンジしやすい可能性に満ちたフィールドです。

たとえばこんな夢!

#1

野菜を使った商品開発にチャレンジ!

自慢の農作物に新しい価値を見出す商品開発。石狩には地域の産業を応援し、技術面のサポートを行う研究機関も揃っています。



#2

消費者に直接、農作物を届けたい!

各地の直売所で販売したり、消費者の声を直接聞けたりするのも都市に近い石狩ならではの。ホームページやSNSを活用して、ユニークな野菜を販売する農家もあります。



#3

6次産業化でファームレストランを!

料理や接客に興味があるなら、採れたてのおいしさを提供するファームレストランを運営する道も。都会からのアクセスの良さが大きな強みに。



ホンネが聞きたい!

## Q. 就農後の夢は?

トマトを使った商品開発にチャレンジしてみたい!

せっかく育てた作物は一粒残らず活用したいと思ってんです(笑)。もちろん、今は研修中ですし、商品開発なんてまだ先の話なのですが、「農作物を使ったカクテルコンクール」という催しに思い切って応募してみたら、なんと優勝してしまって…。まだ就農もしていないのに、正直、怒られるかと思ったのですが、石狩の皆さんはむしろすごく褒めてくれて、「地域のイベントで売ってみよう!」と販売する機会まで作ってくれて。夢への挑戦を応援してもらえるのは、本当にありがたいと思いました。



by 佐々木さん

Q & A

## 新規就農の気になる疑問に お答えします!

### Q. お金はどれくらい必要?

私はゼロでした(笑)



私自身は大学卒業後にすぐ研修に入ったので、貯金はほぼゼロ(苦笑)。支援センターの方々と相談し、国、石狩市やJAの助成金、融資制度などをフル活用しています。もちろんある程度まとまったお金があるほうが安心だと思いますが、資金ゼロから新規就農にチャレンジする例も少なくないようです。(廣井さん)

※ミニトマトなどの施設園芸で就農する場合、一般には就農時1400万円、研修時の生活費500~600万円、合計2000万円位(自己資金、融資含む)が必要と言われています。



### Q. どんな心構えが大切?

農業や農村の特徴を理解して



「今の仕事が肌に合わない」「職場の人間関係が苦手」…例えばそんな理由で農業を始めても長く続けるのは難しいかも知れません。農村では都会よりも人間関係が濃密ですし、自然を相手にする仕事ですから思い通りにならないことも日常茶飯事。新規就農を目指すには、そうした農業や農村の特徴をしっかりと理解することが大切です。(支援窓口担当者)

### Q. 農業体験や産地見学をする時にチェックするポイントって?

生活環境も  
しっかり確認を!



今まで一度も農業に触れたことがないという人であれば、まずは農作業そのものが自分に合うかどうか見極めることが大切です。産地見学の際は、農業についての話を聞くことはもちろん、その土地に住む可能性も視野に入れて、学校や医療機関などの生活環境もチェックしておきましょう。(支援窓口担当者)



### Q. 冬の過ごし方は?

春に備えて  
英気を養う時期



研修期間中は、冬は座学で農業簿記の付け方を学んだり、道立農業大学校で新規参入者研修を受けたりします。農繁期よりは自分の時間も作れるので、ショッピングや旅行を楽しむこともできますね。先輩農家さんには除雪のアルバイトをしたり、スキー場のインストラクターをしたりする人もいます。(佐々木さん)





## Q.栽培する作物はどうやって決めるの？

自分が目指す  
営農スタイルに  
合わせて



私の場合、大学在学中に道内各地の農家さんでお手伝いをさせてもらい、自分にはどんなスタイルの農業が合うのかいろいろと模索しました。用意できる資金や自分にこなせる作業量を考えると、酪農や大規模農業はハードルが高い。そうすると小規模でも収益性のある作物が良いんじゃないかと考えて、施設園芸のミニトマトを選びました。(廣井さん)

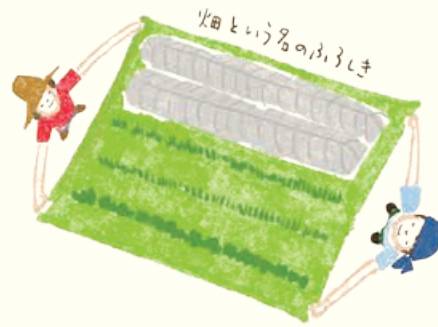


## Q.ホントに食べていける？

知識と技術の習得が  
第一



新規就農から一定の収入が得られるまで2~3年かかるのが一般的だと言われています。悪天候など予測できないリスクもあり、新規就農から数年で離農してしまう人がいるのも事実です。しかし、しっかりと知識や技術を身に付けることでリスクは軽減でき、不測の事態でも最小限の被害に抑えることは可能です。また、農業法人等に就職して給与をもらいながら農業に取り組むのであれば、基本的に収入の心配はいりません。(支援窓口担当者)



## Q.一人就農はやっぱり無理？

パートナーがいると  
断然スムーズ！



例えばビニールハウスを組み立てるにしても、一人よりも二人のほうがはるかに効率が良いですし、農繁期に手が足りず、作業が追いつかなくなっても作物は待ってくれません。研修に参加する時は一人だとしても、できるだけ早い段階で信頼できるパートナーを見つけたほうが、スムーズな営農を実現できます。新規就農は夫婦で行うケースが多いですが、必ずしも夫婦でなければダメということでもありません。安心して頼れる相手なら友達や兄弟でも良いと思います。(支援窓口担当者)

## Q.地域の人たちと打ち解けるには？

新年会にお邪魔！



私はこちらに引っ越してすぐ地域の新年会にお邪魔したんです。そこで挨拶させてもらった「農業やるんだって？」って、すでに周りの皆さんは、知ってくれて。「応援するよ！」って言ってくれたり、「雪で車埋まったら助けるから！」って言ってくれたり(笑)。皆さんやさしくて良かったなと思いました。(廣井さん)



## Q.一番苦労したことは？

就農先を見つけるまでが  
最初の壁



どの地域で就農するかを決めるまでが、一番大変だったように思います。女性一人ということで話を聞いてもらえないこともありまして、「あとで連絡する」と言われてそれっきりになったことも…。結局はインターネットで見つけた先輩農家さんのアドバイスを聞いて石狩で就農することになったので、自分から積極的に行動することが大事だったんだと思っています。(佐々木さん)



## Q.農業に向いている人って？

自ら判断し、試行錯誤を  
楽しめる人



農業者は経営者でもあるため、育てる作物の品種から農作業のタイミングまで、すべて自分で判断しなくてはなりません。何をやるのも自由である一方、すべての責任を自ら負う必要があります。そうした点にやりがいを感じ、自分から積極的に学んだり、試行錯誤を楽しめる人には向いている職業と言えるでしょう。(支援窓口担当者)

## Q.どんな支援制度があるの？

必要な  
タイミングで  
必要な支援を



資金面に関しては国による「農業次世代人材投資資金」を始め、北海道や石狩市など各自治体ごとに用意しているさまざまな融資・助成制度を活用できます(詳しくは18ページ)。そのほか、農業技術の研修や住宅・農地のあっせん。就農後のフォローなど、必要に応じたサポートを行っています。(支援窓口担当者)

## Q.研修にはどんな姿勢で臨むべき？

地域の人に  
認めてもらうキモチで



「このまちで新しく農業をスタートするのは、どんな人なのかな?」。地域の人たちは、自分たちのまちにやってきた研修生をそんな思いで見守っています。「この人ならきっと大丈夫!」と、皆さんに認めてもらうのも研修期間の意義。あなたの頑張りに多くの人が期待を寄せているのです。(支援窓口担当者)

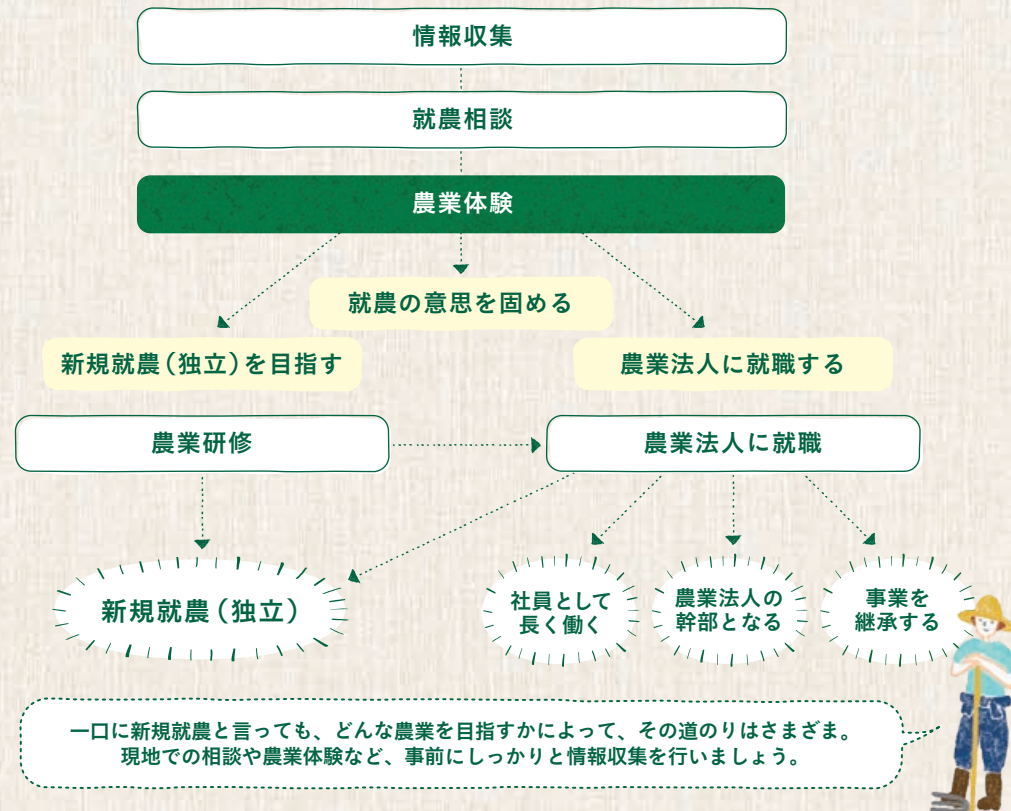




# 石狩で就農するには？

石狩で就農を希望する方は右ページの就農サポート窓口にご相談ください。  
就農までの一般的な流れは次のようになります。

## 一般的な就農までの流れ



## 支援制度の紹介

### 研修生への支援

#### ◎農業次世代人材投資資金(準備型)

北海道が認める研修機関や先進農家・先進農業法人で研修を受け就農するなどの要件を満たす研修生に対し、最長2年間、年間最大150万円を支給する

#### ◎農家研修受入体制強化事業

#### ◎就農研修者家賃助成事業

#### ◎大型特殊免許取得支援事業

### 新規就農者への支援

#### ◎青年等就農資金

#### ◎農業次世代人材投資資金(経営開始型)

就農直後の経営確立を支援する制度で最長5年間、年間最大150万円を支給する

#### ◎農地保有合理化事業

#### ◎公社営農場リース事業

※詳しくは、各就農サポート窓口までお問い合わせください。

## 石狩の就農サポート窓口

### 石狩市

#### 石狩市農業総合支援センター

北海道石狩市八幡2丁目332番地11  
TEL 0133-66-3345  
<https://ishikari-asc.jp/>

大消費地の札幌に隣接する優位性を生かした都市近郊農業が行われ、多種多様な品目が栽培されています。『JAいしかり地物市場とれのさと』(産地直売所)には約100戸の農家が新鮮な野菜を提供し、消費者と食と農でつながる交流の場となっています。

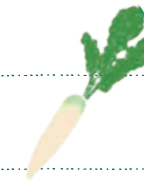
#### 【地区の主な農産物】

米、小麦、じゃがいも、にんじん、大根、ブロッコリー、さやえんどう、ミニトマト、メロン、かぼちゃ

#### 【新規就農受入可能な作物】

ミニトマトを基幹作物とした施設野菜

【単身者の就農】相談可



### 札幌市

#### 札幌市農業支援センター

北海道札幌市東区丘珠町569-10  
TEL 011-787-2220  
<http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/center/index.html>

過去5年間で計15名程度の新規就農実績があり、就農者は現在も札幌市内で農業を営んでいます。その多くは比較的小さい規模で観光農園や少量多品目を栽培し、直売所などへ出荷する都市ならではの農業を行っています。

#### 【地区の主な農産物】

玉ねぎ、コマツナ、ホウレンソウ、かぼちゃ、レタス

#### 【新規就農で受け入れ可能な作物】

園芸品目全般

【単身者の就農】相談可



### 当別町

#### 当別町農業総合支援センター

北海道石狩郡当別町錦町53番地57 北石狩農業協同組合内  
TEL 0133-23-2552  
<http://www.ja-kitaishikari.or.jp/contents/shien/>

「札幌から一番ちかい、いなか」と呼ばれ、約500戸が農業に携わっています。米、小麦などを中心にカボチャ、じゃがいも等の多品目野菜を生産。また、花の生産が盛んで、ユリは北海道一の生産量を誇ります。近年ではIT機器を活用したスマート農業の実証試験にも積極的に取り組んでいます。

#### 【地区の主な農産物】

米、小麦、大豆、小豆、かぼちゃ、じゃがいも、ブロッコリー、アスパラ、にんじん、スイートコーン、花(ユリ、カスミソウ、カーネーション等)

#### 【新規就農受入可能な作物】

ユリを軸にした花、野菜

【単身者の就農】相談可



### 江別市、北広島市、恵庭市、千歳市

#### 公益財団法人 道央農業振興公社

北海道恵庭市西島松41番2  
TEL 0123-39-6057  
<https://www.douou-nsk.jp/>

公社には1.6haの圃場があり、研修1年目には基礎的な知識の習得と地域の主力野菜の栽培トレーニング、2~3年目には地域の農業者の農場と一緒に作業しながら学ぶという、実践経験の積み上げと地域の人達との信頼関係構築を重視した研修を行っています。小麦や大豆といった畑作経営に興味のある方は、地域の農業法人と連携した研修も可能です。

#### 【地区の主な農畜産物】

米、小麦、大豆、小豆、てん菜、ブロッコリー、かぼちゃ、じゃがいも、スイートコーン、大根、キャベツ、牛乳、肉牛

#### 【新規就農で受け入れ可能な作物】

野菜(主要作物から選択)、畑作(小麦、大豆等)

【単身者の就農】相談可



### 新篠津村

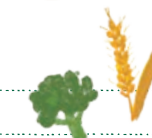
#### 新篠津村農業振興センター

北海道新篠津村第47線北12番地 TEL 0126-58-3611

米、小麦、大豆が代表的な農産物で、農業を使用しない有機農業にも積極的に取り組んでいます。新規就農者には村から就農支援用農地を1年間無償で貸し出しているほか、農業に関する基礎知識や実践的な技能を習得する「農業塾」などの取り組みも行っています。

#### 【地区の主な農産物】米、小麦、大豆、玉ねぎ、ブロッコリー、花

【新規就農受入可能な作物】露地野菜、施設園芸 【単身者の就農】相談可



### 【石狩管内】



※現在、農地の空きが少ないため、ご希望に添えない場合がございます。





二人のインタビューや  
石狩の農業のもっと詳しい  
情報は動画で!



YouTubeで  
動画をチェック! /

くらしごと 石狩農業



北海道石狩振興局産業振興部農務課

〒060-8558

北海道札幌市中央区北3条西7丁目  
道庁別館6階

TEL 011-204-5845

©2021年3月発行

このパンフレットは北海道を応援する皆様から  
お寄せいただいた「ふるさと北海道応援寄付金」  
を活用して作成しています。